



▲大人に一步近づいた2年生の姿 ▲生徒代表者による立志の作文朗読 ▲一人一人呼名され、決意に満ちた表情

将来の決意を胸に…立志式

▼2月4日(月) 市内中学校

市内の各中学校で立志式が行われ、真岡西中学校では、2年生132人が立志を迎えました。式典では、呼名されると大きな返事が響き、たくましく成長した姿が感じられました。生徒代表者が立志の作文を読み上げると、生徒たちは真剣に聞き入っていました。式典後は、グループに分かれ総合的な学習発表が行われ、マイ・チャレンジ社会体験活動の感想や、各職業の詳細を調べた研究発表をしました。



△総合的な学習発表の様子



外国籍市民のための普通救命講習会

▼2月3日(日) 市民館 二宮分館

救急車が来るまでに対応できるように、心肺蘇生法や気道異物除去の方法、AEDの使い方を学びました。参加者は、きちんと覚え、いざという時に家族や近所の方の力になりたいと、真剣な表情で受講していました。



第四章 真岡・浪漫ひな飾り

▼2月3日(日) 久保講堂

たくさん色鮮やかなつり雛や、愛らしい顔をしたぶす雛・掃除雛が展示され、開催初日のこの日は、多くの来場者で賑わいました。訪れた方々は、人形の顔をじっくり眺めたり、写真を撮ったりと、ひな飾りに魅了されていました。



根本山へしば刈りへ行こう

▼2月10日(日) 根本山自然観察センター

松ぼっくりの林で植物が育つ環境を整えるため、しば刈りを行いました。参加した親子は協力し、林に落ちている枯れ枝や枯葉を熊手を使って集め、雑木林の手入れをしました。春に芽吹く草花を心待ちにしながら、みんな一生懸命に作業しました。



カルシウムアップ料理教室

▼2月3日(日) 市民館 二宮分館

食生活改善推進員の指導のもと、カルシウムが豊富に摂取できるメニューを作りました。参加者は、普段はそのまま食べている牛乳やヨーグルトを、ドレッシングやご飯に混ぜて使うことに驚きの表情でしたが、大変おいしいと大好評でした。



天まで高く!!にのみやたこあげ大会

▼1月20日(日) 鬼怒川河川敷緑地公園

二宮地区子ども会育成会連絡協議会が主催する「にのみやたこあげ大会」が開催され、冬晴れのもと出場者と保護者など約200人が集まりました。あいにくの微風でしたが、子どもたちはたこを空高くあげようと一生懸命走っていました。



色が変わるスライムを作ろう

▼2月2日(土) 科学教育センター

洗濯のり、ホウ砂水溶液、紫外線に当てると色が変わる「にんじゃえのく」を混ぜ、色が変わるスライムを作りました。子どもたちはコップをのぞき込んだり、日光に当てたり色の変化を楽しんでいました。



「ふるさとの昔ばなし」口演

▼1月18日(金) 情報センター第1研修室

民話の会「花もめん」による定期口演「ふるさとの昔ばなし」が、情報センターで開催されました。語り部の時代を感じさせる語り口に、観客は笑ったり悲しんだり、物語の中へ引き込まれるように聞き入っていました。



市民講座 手打ちそば講座

▼1月26日(土) 市民館 真岡西分館

6人のそば打ち名人から、そばの打ち方を丁寧に指導され、受講者は慣れない手つきでそばを打ちました。そば打ちの後は、名人のそばをみんなで試食しました。受講者は、自分の打ったそばを家族へのお土産として持ち帰りました。



鬼はくそと福はくうち

▼2月1日(金) にのみや保育園

にのみや保育園とにのみや保育園子育て支援センターによる豆まき集会在開催されました。紙人形劇を見て掛け声の練習をし、園児たちは元気いっぱいでしたが、鬼が登場すると泣いてしまいました。鬼を退治するため一生懸命に豆を投げていました。



オピママの節分集会

▼2月1日(金) 子育て支援センター

家庭教育オピニオンリーダー会による節分集会在開催されました。節分の紙芝居を見た後、親子で鬼のお面と、新聞紙をちぎって丸めた鬼退治用の豆を作りました。鬼が現れると、みんなで豆を投げ鬼を退治しました。